

平成 31 年 4 月 12 日

直方市長 壬生 隆明 様

直方市指定管理候補選考委員会

委員長 松永 裕己

直方市指定管理候補選考委員会における意見について

去る 3 月 19 日、直方市指定管理候補選考委員会におきまして、直方市文化施設の指定管理についての市のモニタリング報告を受け、施設の管理運営状況のほか、市による業務確認及び評価が適正になされているか等を議論しました。

その結果を本委員会の意見として取りまとめましたので、ご報告いたします。

記

1. モニタリングの対象施設

直方市文化施設(ユメニティのおがた、直方市立図書館、直方市石炭記念館、直方歳時館、直方市美術館、直方市美術館別館)

2. 指定管理者

公益財団法人 直方文化青少年協会

3. 委員会概要

日時 平成 31 年 3 月 19 日 (火) 13 時 30 分～

場所 直方市役所 808 会議室

内容 ①施設見学(ユメニティのおがた、直方市立図書館、直方歳時館)
②施設の概要説明及びモニタリング評価内容の説明

4. 出席委員

- ・学識経験者 松永 裕己 (北九州市立大学大学院マネジメント研究科)
- ・財務経験者 山口 展弘 (西日本シティ銀行融資課長)
- ・財務経験者 松崎 和代 (税理士)
- ・有識者 川口 奈緒子 (株式会社悠友代表取締役)
- ・有識者 有岡 富美江 (直方市女性人財情報バンク)

5. 市のモニタリング報告に対する意見

別紙 指定管理候補選考委員会における意見 のとおり

指定管理候補選考委員会における意見

施設名	ユメニティのおがた		
指定期間	平成29年4月1日 ～ 平成32年3月31日		
担当課	教育委員会 文化・スポーツ推進課	評価対象事業年度	平成29年度
<p>適切な指定管理がなされ、基本的に市民サービスを満たしていると判断できる。</p> <p>ホールでの催し内容を工夫することで、利用者数、収入ともに増加している。フリースペースや小ホールでのくつろぎ空間づくり等、施設のメリットを活かしたサービス提供が行なわれている等の取組みは高く評価できる。ホール等の催しで駐車場を利用する場合は、駐車料金の軽減を実施しているが、利用料金制度の問題はあるが、会議室を利用する際にも同様に軽減するように、指定管理者と市で協議・検討してみてもどうか。</p> <p>文化施設を同じ指定管理者で運営している強みを活かし、施設の連携施策の充実を図り、今後もよりよい市民サービス提供のための工夫を継続していただきたい。</p>			

施設名	直方市立図書館		
指定期間	平成29年4月1日 ～ 平成32年3月31日		
担当課	教育委員会 文化・スポーツ推進課	評価対象事業年度	平成29年度
<p>適切な指定管理がなされ、基本的に市民サービスを満たしていると判断できる。</p> <p>減少傾向にある利用者を増やすため、中庭の活用や飲食可能スペースの設置を始めとした利用者の立場に立った運営や、福祉・産業分野の団体と連携して新たな利用者を開拓する等の取組みは高く評価できる。</p> <p>また、公共施設の運営にとって、今後地域住民の参加がますます重要となってくる中、ボランティアの活動が非常に充実している点については、他の運営施設のモデルにもなるため、その知見や手法について他施設とも連携を図っていただきたい。</p>			

施設名	直方市石炭記念館		
指定期間	平成29年4月1日 ～ 平成32年3月31日		
担当課	教育委員会 文化・スポーツ推進課	評価対象事業年度	平成29年度
<p>適切な指定管理がなされ、基本的に市民サービスを満たしていると判断できる。</p> <p>生涯学習施設であると同時に、観光施設の側面も併せ持っており、他の文化施設との共通割引チケットの発行や、学校や民間団体と連携の強化を図る等、利用者を増やすための取組みも行なわれている。</p> <p>ボランティアの市民協力が比較的得られやすい施設であり、展示した蒸気機関車のメンテナンスや敷地内の清掃等、実際にボランティアと連携した取組みも実施している。文化施設を同じ指定管理者で運営している強みを活かし、図書館でのボランティア活動の知見によって運営に更なるボランティアの活用を検討する等、施設の連携施策の充実を図り、今後もよりよい市民サービス提供のための工夫を継続していただきたい。</p>			

施設名	直方歳時館		
指定期間	平成29年4月1日 ～ 平成32年3月31日		
担当課	教育委員会 文化・スポーツ推進課	評価対象事業年度	平成29年度
<p>適切な指定管理がなされ、基本的に市民サービスを満たしていると判断できる。</p> <p>生涯学習施設であると同時に観光施設の側面も併せ持っており、食事を楽しみながら日本家屋の風情を味わえるよう、新たに和風のテーブルと椅子を設置し食のイベントを開催するなど、施設の特性を活かした魅力的な企画を展開することで、利用者の増加を図っているところも評価できる。</p> <p>文化施設の連携施策の充実を図り、今後もよりよい市民サービス提供のための工夫を継続していただきたい。</p>			

施設名	直方市美術館 / 直方市美術館別館		
指定期間	平成29年4月1日 ~ 平成32年3月31日		
担当課	教育委員会 文化・スポーツ推進課	評価対象事業年度	平成29年度
<p>適切な指定管理がなされ、基本的に市民サービスを満たしていると判断できる。</p> <p>催しや展示物によって、例年利用者にバラつきはあるが、今後も安定した利用者数を確保すると同時に、新たな利用者を増やすため、学校へのアウトリーチ事業を始めとした取組みを積極的に行なっている。</p> <p>施設の連携施策の充実により、今後もよりよい市民サービス提供のための工夫を継続していただきたい。</p>			

<p>【その他】</p>
<p>新たな取組みとして、平成29年度より文化アドバイザーを活用しており、文化施設全体において、市と連携を図り新しい視点で様々な改善がなされている。今後利用者が増加することを期待する。</p> <p>指定管理者の収支内容の記載については、例えば収入の内訳を詳細に記入する等、内容をより明確なものとすると同時に、市の会計との整合性にも注意する必要がある。また、財務状況を判断するにあたっては、指定管理者の「貸借対照表」、「正味財産増減計算書」等、財務諸表があったほうがよい。</p> <p>アンケートについては、例えば満足度指数の設定等、分かりにくい部分も見受けられるため、利用者に見やすいものにする必要がある。</p>